



社史で見る 日本経済史

**検索機能付で資料性UP!!
「植民地編」に続く第2弾。**

経営学、経営史研究に最適な社史を厳選。財務データの集積ではこぼれ落ちてしまう、企業の歴史の襞までたどれるような社史を収録。

全15巻揃い(分売可)	同時1アクセス(本体)		同時3アクセス(本体)		Product ID
	¥511,500		¥765,250		
書名	発行年	冊子版ISBN	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)	
東京電気株式会社五十年史	1997	9784897142920	¥34,100	¥51,150	KP
倉敷紡績株式会社回顧六十五年	1998	9784897142999	¥34,100	¥51,150	
内外綿株式会社五十年史	1999	9784897148229	¥34,100	¥51,150	
京都織物株式会社五十年史	1999	9784897148236	¥34,100	¥51,150	
宝田二十五年史	1999	9784897148243	¥34,100	¥51,150	
大阪電灯株式会社沿革史	1999	9784897148250	¥34,100	¥51,150	
大同電力株式会社沿革史	1999	9784897148267	¥34,100	¥51,150	
東京瓦斯五十年史	1999	9784897148274	¥34,100	¥51,150	
藤本ビルブローカー証券株式会社三十年史	1999	9784897148281	¥34,100	¥51,150	
明治生命五十年史(付 明治生命四十周年記念)	1999	9784897148298	¥34,100	¥51,150	
郡是製絲六十年史	2000	9784843302422	¥34,100	¥51,150	
大日本人造肥料株式会社五十年史	2000	9784843302446	¥34,100	¥51,150	
建業回顧—三菱電機株式会社社史 満30周年記念出版	2000	9784843302484	¥34,100	¥51,150	
トヨタ自動車20年史 上	2009	9784843332115	¥34,100	¥51,150	
トヨタ自動車20年史 下	2009	9784843332115	¥34,100	¥51,150	

●東京電気株式会社五十年史

(東京芝浦電気・1940年) 電力事業の発達や輸入電球との競争などの市場条件も加味して描いた沿革編は重要。主要製品の改良発達史も身近で興味深い。「芝浦製作所六十五年史」と併せて電気産業の発達を知る貴重な文献。

●倉敷紡績株式会社回顧六十五年

(倉敷紡績・1953年) 一万錠規模紡績会社の製品が機械制輸入綿糸を駆逐してめざましく発展していったという事実の貴重な記述がある。生産過程の発展や労働問題がよく書けているのが一つの特色である。

●内外綿株式会社五十年史

(内外綿・1937年) 1887(明治20)年に大阪の繰綿問屋が設立した綿関係商社。代表的な在華紡に成長し、国産綿に加え、中国・インド・アメリカの各綿および輸出綿を扱う。1911(明治44)年の上海工場新設以降、在華紡の中心的存在となる。敗戦で大損害を蒙り、1949(昭和24)年に解散。本書は、日本における多国籍企業のパイオニアといえる在華紡の活動を伝える資料である。

●京都織物株式会社五十年史

(京都織物・1937年) 1887(明治20)年、渋沢栄一など東京・京都の財界有力者が京都府営模範工場織殿の払い下げを受けて設立した洋式力織機を使用した織物会社。洋式織物から南京縞子へと製品を転換し、洋反物商の販売網を生かして売り上げを伸ばすが、1968(昭和43)年解散。本書は、織物産地として伝統のある京都の戦前を代表する会社の社史として貴重である。

●宝田二十五年史

(宝田石油・1920年) 日本における石油会社の草分け的存在。1892(明治25)年、新潟県下の東山油田地区に創設され当初無名であったが、翌年宝田石油と公称するようになる。同地区以外からも採油に成功し、また他社を合併して屈指の石油会社に成長。1921(大正10)年、日本石油と対等合併する。同社は明治期の石油産業を代表する会社であり、本書も石油会社の社史の草分けである。

●大阪電灯株式会社沿革史

(編輯兼発行者萩原古寿・1925年) 同社は東京電灯、京都電灯とともに日本の電力事業の勃興期を代表する企業であり、本書は前述二社の『五十年史』と並ぶ貴重な資料である。叙述の特色としては、先見性を発揮した交流発電機の早期採用、宇治川電気や民間電鉄会社四社との電力需要契約、大阪市との報奨契約が挙げられる。日本の電力事業の勃興期である第一次世界大戦期の事情を伝えるものとして興味深い内容である。

●大同電力株式会社沿革史

(大同電力社史編纂事務所・1941年) 同社は、両大戦間期の五大電力を代表する会社であり、その社史である本書は、『東邦電力史』とともに同時代を代表するものである。その内容からは木曾川筋での水力発電所の建設、外債発行のいきさつ、東京や大阪への進出にともなう「電力戦」の様相が詳しく描かれ、ボリュームのある叙述が展開されている。

●東京瓦斯五十年史

(東京瓦斯・1935年) 日本のガス会社の本格的社史としては最も古い。1885(明治18)年会社設立から1935(昭和10)年までの50年を、第一次世界大戦と昭和恐慌を画期として三つの時代に区分、「創業時代」「受難時代」「復興時代」として叙述する。会社創設の事情、関東大震災の被害とその復旧、社内の労務管理など興味深い論点が盛り込まれている。

●藤本ビルブローカー証券株式会社三十年史

(藤本ビルブローカー証券・1936年) 同社は現在の大和証券の前身。五代藤本清兵衛が大阪で始めた個人営業が1906(明治39)年に株式会社へと発展し、1933(昭和8)年には藤本ビルブローカー証券として発足。同社は日本における証券会社の嚆矢であり、また本書も戦前に刊行された数少ない証券会社史のひとつとして貴重な資料である。

●明治生命五十年史(付 明治生命四十周年記念)

(明治生命・1933年) 明治生命は近代的生命保険会社の先駆けであるが、本書も同業界における最初の本格的社史といえる。沿革と統計資料のバランスが良く、コンパクトにしかも網羅的にまとめられて資料的な価値が高い。またエピソードや役員履歴なども付されており、当時の雰囲気も伝わる貴重な中身となっている。付載の『明治生命四十周年記念』も好資料である。

●郡是製絲六十年史

(郡是製絲・1960年) 郡是製絲(現ゲンゼ)は、1896(明治29)年、大製糸工場を望んだ郡是(郡の方針)により創設された。昭和初期には片倉製糸に次ぐ有力かつユニークな製糸会社に成長した。本書は、蚕種・原料繭から製糸・加工・販売をはじめ創業者の波多野鶴吉の思想や従業員教育まで豊富な原資料を利用した記述が充実している。

●大日本人造肥料株式会社五十年史

(大日本人造肥料・1936年) 大日本人造肥料株式会社は、わが国初の化学肥料会社として、1887(明治20)年東京人造肥料会社として誕生。のち、日産コンツェルンに参画し、現在の日産化学工業の前身のひとつとなった。本書は、戦前の化学工業会社の経営史研究にとって高い資料的価値をもつ社史である。

●建業回顧 一三菱電機株式会社社史 満30周年記念出版

(三菱電機・1951年) 本書は、戦後間もない時期の社史であるが、経営史の古典的文献として今日でも高い評価を与えられている社史である。沿革・技術の進歩・経営及び制度の推移の順に叙述されているが、合理化の叙述や経営の諸側面の分析が優れている。回顧談の貴重な証言はそのまま、価値ある史料となっている。

●トヨタ自動車20年史 上・下

(トヨタ自動車工業・1958年) 本書は写真を多用し、章立ても平易を心がけたスタイルを取っている。会社創立前夜から筆を起し、創立20周年を迎えて新たな飛躍を展望する内容。戦中戦後の混乱を乗り越えてモータリゼーションが日本でも本格化しつつある世相を背景にして描かれた「世界のトヨタ」の前史。当時としては先駆的な社史。他に関係者の手記、会社資料、年表を付す。